

キャッチフレーズ

「明るいあいさつ しっかり返事 響く歌声」

せな



龍郷町立大勝小学校 学校便り 令和3年11月号

自己肯定感を高める（修学旅行から）

校長 前田 浩之

自己肯定感とは、簡単に言えば「自分を好きである」ということです。自己肯定感の高い子どもは新しいことにチャレンジします。だから予測不能な未来に生き、自らの手で未来を切り拓くことを要求される子どもたちに必要な資質だといわれているのです。OECDの調査では、概して日本の子どもたちは自己肯定感が低いという結果があり、さらに全国学力・学習状況調査では、龍郷町の児童・生徒は「自分には良いところがあると思いますか。」の質問への肯定的な回答は、全国平均よりも低い傾向にあります。ならば…

6年生の修学旅行。コロナの影響で島外への旅行のリスクが大きいこともありましたが、奄美大島南部の旅行へと切り替えました。「観光客がたくさん訪れる、奄美の魅力を体感しよう。」つまり、自分たちの住む郷土の魅力を感じ「自己肯定感」の醸成（奄美大好き→そこにすんでいる自分も大好き）に繋げよう作戦です。

奄美の良さは「自然の素晴らしさ」にあります。加計呂麻島でのシュノーケリング、宇検村での釣り筏でのサビキ釣り、そして住用マングローブでのカヌー。三つの自然体験活動をメインに、瀬戸内町での戦跡巡りで平和学習も加えました。

特に釣り体験は好評で、その夜のバーベキューでは肉よりも、自分たちの釣ったムロアジや地魚を「おいしい！おいしい！」と頬張る姿が印象的でした。自然体験活動を通し、日に日に子どもたちが自信を深めていったのは間違いありません。最終日のカヌー体験では、臆する子どもは一人もいませんでした。全員が笑顔で、2時間半の大自然でのカヌー体験を思う存分に楽しんだところです。

自然体験は子どもたちの心を豊かにし、優しさも育みます。私の社会教育6年間の経験からも明らかです。奄美大島は世界的に見ても、絶好のフィールド。この地元の良さを生かさないのはもったいない。保護者の皆様も、子どもたちと一緒に奄美の自然を楽しんでみませんか？

マコモ収穫体験



「めっちゃ楽しかった」
大勝小 6年生
マコモ収穫を体験
奄美新聞掲載【11月8日（月）】



11月5日（金）、南重喜さん所有のマコモ水田に招待していただき、6年生が収穫体験を行いました。初めてのマコモの収穫で、恐る恐る水田に入っていた子どもたちでしたが、次第に慣れて楽しそうに収穫していました。南さんから、マコモのお土産もいただき大満足でした。

県民週間



11月1日（月）～7日（日）は、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」でした。期間中、のべ86名の保護者や地域の皆様方に子どもたちの様子を参観していただき、子どもたちは大喜びでした。今後とも、子どもたちへの応援と励ましをどうぞよろしくお願いします。

避難訓練（地震・津波）



11月5日（金）、地震・津波に対する避難訓練が行われました。町の緊急地震速報（訓練放送）を受け、担任の指示を落ち着いて聞きながら、安全な場所へ素早く避難することができました。

校内読書月間



今月は校内読書月間です。11月2日（火）の読書祭りでは、多読賞の表彰や読書感想文の発表が行われました。また、朝の活動では担任以外の先生方による読み聞かせも行われました。秋の夜長、テレビやネット視聴、ゲームはひとまずお休みして、お子様と一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

12月の行事予定

2日(木)	運動会準備 (14:05~14:50)
5日(日)	大運動会
6日(月)	振替休日
8日(水)	町学校保健研究大会
9日(木)	学級PTA
11日(土)	土曜授業 学級レク（4年） PTA迎春準備
12日(日)	学級レク（3年）
13日(月)	SSW来校
15日(水)	学校評議員会
19日(日)	学級レク（2年）
24日(金)	終業式

修学旅行（6年生）



10月26日（火）～10月28日（木）、修学旅行が実施されました。今年度もコロナウイルス感染防止を第一に考え、奄美大島南部と加計呂麻島へと旅行先を変更しました。

2泊3日のスケジュールで、瀬戸内町での戦跡巡りやシュノーケリング体験、宇検村でのイカダ釣り体験、奄美市住用でのカヌー体験などを行いました。

自分たちが住んでいる奄美の人や自然、歴史や文化に触れることで、今まで気付くことができなかった郷土のよさやすばらしさを知り、それらを体全体で味わうことができました。

また、友達と協力して規律正しい生活を送ることで、小学校生活最高の思い出ができたようでした。

